

ダイハツ、紫外線による除菌装置「ULTRABUSTER」を開発し、 医療機関等への無償貸与を開始



ULTRABUSTER (イメージ)

ダイハツ工業株式会社（以下ダイハツ）は、紫外線（UV）による除菌装置「ULTRABUSTER（ウルトラバスター）」を開発し、近隣の医療機関等への無償貸与を2月25日（木）より開始した。

「ULTRABUSTER」は、新型コロナウイルス感染拡大下において、最前線の現場で活動している医療従事者の方々への貢献のため、2020年春頃からダイハツの「くらしとクルマの研究所」にて開発を行ってきた装置である。同年秋頃から近隣の医療機関や社内診療所などで実証実験を行っており、3月までに250台程度を近隣医療機関等へ無償貸与する。

この「ULTRABUSTER」は、室内の空気を強力に吸い込み、筐体内に格納された6本の紫外線ランプの照射により除菌する装置である。専門機関による試験では、室内（25㎡）の浮遊ウイルスを約11分で90%低減、約21分で99%低減できる効果*が確認できている。

ダイハツは今後も“Light you up”の考え方のもと、これからもお客様一人ひとりに最適なモビリティを提供するとともに、地域の活動に貢献できる取り組みを促進し、お客様に寄り添った企業を目指す。

※：【試験機関】（一般財団法人）北里環境科学センター 【試験方法】25㎡の試験空間で浮遊ウイルス数の変化を測定
【試験結果】約11分後に90%減少、21分後に99%減少を確認 <試験番号>北生発2020_0354号
新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する試験ではありません。
実使用空間での実証効果ではありません。使用環境・部屋の条件により効果は異なります。